

「おっすげえな…
ここまででけえの初めてだぜ」

「や…先輩…どう…して…」

「沙希ちゃん
明日結婚式だろ？」

「そ…それが…
これと…何の…」

「寝取るのに
最高のタイミングじゃん♡」

「なッ……」



「じゃーん俺のち●ぽどうよ?」

ビクッ

「ひッ!!」

(え…なっ…なにこ…れ…)

「俺の味わうと

他のち●ぽじや

満足できなくなるぜ(笑)」

「あ…あ…いや…」

「おーし始めるぜ」

「や…やめ…
そ…んな…の…入るわ…け…」

びん

びん

「俺の得意な
子宮口責めで

墮としてやるぞ沙希♡」

ガク

ガク

ガク

「ひあ!?
やッ...お...奥...
な...に...これ...ッ」

「子宮口責められるの
初めてか沙希?」

「ん...ん...ぐッ!!」

「こんな気持ちいい事
知らなかったのか
彼氏もひでえな(笑)」

「やッあッいああッ!!
ひゃ...お...ぐ
だめ...駄目ええええッ!!」

「ほらほら奥トントン
ぬらぬらぐりぐりぐりッ」

「ひやらッひやらあああッ!
やッあッ♡おくッおくッ♡
やめッひやめッ!!
あああットぶうううッ!!」

ずちゅ

「ふっ...ふっ!!
イけッイけ沙希ッ!!」

「やッあッ♡
やらやらあああッ!!
おぐッ♡おぐイぐうううッ!!」

ずちゅ

びゅ











